

100%の安全は無いサイバー空間 犯罪者からの攻撃を防ぐ対策とは

不正アクセスやフィッシングメール等、サイバー犯罪が後を絶たない。医療機関でも攻撃を受けて診療が出来なくなるという被害が相次いでおり、海外では病院に受け入れられなかった救急患者が死亡する事案まで起きている。こうなると人の命さえ脅かす凶悪犯罪で、人気ドラマの言葉を借りれば「今や、事件はネット空間で起きている」と言ったところだ。そうした医療機関を狙ったサイバー攻撃をどの様に防げばよいのか。2024年11月27日、警察庁やインターポール（国際刑事警察機構）で長くサイバー犯罪を担当し、現在はNECでCSO（最高セキュリティ責任者）を務める中谷昇氏にサイバー犯罪の現状や対策について講演して頂いた。



中谷 昇氏
日本電気株式会社 執行役 Corporate EVP 兼 CSO、NECセキュリティ株式会社 代表取締役社長 兼 CEO、元インターポール総局長

挨拶



原田 義昭氏 「日本の医療の未来を考える会」最高顧問（元環境大臣、弁護士）

最近、私が新聞に取り上げられる事が増えました。1つは会長を務める船井電機の再建問題で、方針を巡る混乱も有りますが、解決に努めて行きます。又、2019年に馬毛島を国が防衛施設建設の為に購入した件では、私が仲介を務めたいきさつ等が取り上げられています。当時、中国が介入したのは事実で、我が国の防衛にとって重要な取引となりました。



三ッ林 裕巳氏 「日本の医療の未来を考える会」国会議員団代表（衆議院議員、元内閣府副大臣）

日本でもランサムウェアによるサイバー攻撃で多くの被害が報告され、医療機関でも外来診療を含め全ての活動を停止する被害も発生しています。こうした攻撃に対応出来る様、国も被害からの復旧能力の向上を含め、セキュリティ対策を検討して頂きたい。詳しくはホームページをご覧ください。

続きを読むには購読が必要です

